

# 生活保護世帯

## 最多を更新

昨年12月

厚生労働省は一日、全国で生活保護を受けている家庭は昨年十二月時点で百六十二万四千八百八十五世帯となり、過去最多を二カ月ぶりに更新したと発表した。前月から千九百六十五世帯増加した。働いて収入が得られない一人暮らしの高齢者の増加が影響したとみられる。

受給者数は前月より千二百十人増の二百十六万五千五百八十五人だった。

世帯別（一時的な保護停止を除く）では、六十五歳以上の高齢者世帯が前月より千八百七十七世帯増の八十万五千七百二十二世帯となり、全体の49・6%。このうち一人暮らしが90・5%を占め、前月より千九百六十九世帯増えている。

一方、働ける世帯を含む「その他の世帯」は百七十四世帯減の二十七万一千三十七世帯。母子世帯は十万四千九百三十二世帯、傷病者・障害者世帯は四十四万四千二十一世帯。

受給者数は前月より千二百十人増の二百十六万五千五百八十五人だった。

世帯別（一時的な保護停止を除く）では、六十五歳以上の高齢者世帯が前月より千八百七十七世帯増の八十万五千七百二十二世帯と